

※赤書き: 中間整理からの  
主な変更箇所

## 第1章 日本再興を確実にするための新首都圏広域地方計画

首都圏の将来を決する  
「運命の10年」

- ①ポストオリンピック・パラリンピックの首都圏像を描くための10年
- ②インフラ整備が相当程度進展する10年 →「インフラを賢く使う手引き書」
- ③切迫する巨大災害への備えを万全なものとしなければならない10年
- ④急激な人口構造の変化への対応が求められる10年

## 第2章 首都圏の特性と課題

### 第1節 首都圏の地域特性とポテンシャル

- (1) 広大な関東平野と多様な地勢、豊かな自然資源
- (2) 約4,400万人が暮らす大都市圏
- (3) 日本経済を牽引する中枢機能の集積
- (4) **技術力の高さ**と先端的な学術・研究分野の集積
- (5) 多彩で魅力的な文化資源
- (6) **世界都市東京を擁する首都圏**

### 第2節 首都圏の構造的な特性

- (1) 日本経済を牽引する首都圏
- (2) 二重構造の人口流入と高齢化
- (3) 首都圏の中での東京圏への一極集中
- (4) **東京の世界都市機能強化等**

### 第3節 首都圏の現況と課題

- (1) 人口減少・少子化による**労働力不足**
- (2) 異次元の高齢化の進展
- (3) 巨大災害の切迫
- (4) 国際競争の環境と日本の地政学的な位置付けの変化
- (5) 拡大し多様化する観光
- (6) 食料・水・エネルギーの制約・環境問題
- (7) 劇的な進歩を遂げるICTの積極的な活用

## 第3章 首都圏の将来像

確固たる安全・安心を土台に、世界に貢献する課題解決力、先端分野・文化による創造の場としての発展を図り、同時に豊かな自然環境にも適合し、**上質・高効率・繊細さ・人々の親切を備え、そこに息づく人々が親切的な、世界からのあこがれに足る「洗練された首都圏」**の構築を目指す。

## 第4章 将来像実現のための首都圏の政策の基本的考え方

### 第1節 三大課題への対応

- (1) 防災・減災と一体化した成長・発展戦略と**基礎的防災力の強化**
- (2) スーパー・メガリージョンを前提とした国際競争力の強化
- (3) 都市と農山漁村の対流も視野に入れた異次元の超高齢社会への対応

### 第2節 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会もターゲットに置いた、より洗練された首都圏の構築

- (1) 社会システムの質のさらなる向上
- (2) 柔軟で高効率な生産システム等による日本再興のための取組  
～ストック効果の最大化による生産性の向上～
- (3) 地域の環境の刷新とクリエイティビティ・イノベーションの創出
- (4) 若者・女性・高齢者・障害者等の社会への参加可能性を開花させる環境づくり
- (5) 田園回帰を視野に入れた農山漁村の活性化
- (6) **首都圏ならではの世界に通用する観光地域づくり**
- (7) オリンピック・パラリンピックの機会に、洗練された首都圏と東北の復興を世界にアピール

### 第3節 日本の中の首都圏

- (1) 東京一極集中から対流型首都圏への転換
  - 1) 対流型首都圏の構築
  - 2) 面的な対流の全国への波及
  - 3) **「連携のかたまり」同士のコラボの促進**
  - 4) 首都圏版「コンパクト+ネットワーク」(「まとまり」と「つながり」)の推進
  - 5) 面的な対流による都市農村対流
  - 6) **放射方向と連動した多重リングの形成**
- (2) 福島復興及び日本海・太平洋二面活用

## 第5章 首都圏版「運命の10年」コアプログラム

- A. 首都圏から始める確固としたデータ蓄積と高度なICTに基づく科学的な国土管理・国土活用
- B. 巨大災害にも対応できる**強靱な**首都圏の構築
- C. 世界最大の経済集積圏としてのスーパー・メガリージョンの形成と国際競争力の強化
- D. 対流型首都圏の構築
- E. 共生首都圏の形成と都市農山漁村対流
- S. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会にターゲットをおいた首都圏・日本の躍進

## 第6章 計画の効果的推進